

# 原発あかん・橋下いらん・弾圧やめて!

# 5・25『鎌田慧 講演会』

## 汚染列島からの脱却

～原発ファシズムを超えて～



とき <sup>2012</sup> 5月25日(金)  
18:00開場  
18:30開演 21:00終演予定

ところ クレオ大阪東  
〒536-0014  
大阪市城東区鳴野(しきの)西2-1-21  
電話 06-6965-1200

交通アクセス  
・環状線「京橋駅」南口 南へ600メートル  
・地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク駅」  
4番出口 東へ700メートル  
・大阪市営バス(46系統)「鳴野西1丁目」100メートル



ゲスト



はっぴーあいらんず・  
のーぬーくす  
(ライブ&トーク)



おしどりケン&マコ  
(音曲漫才)

アピール

福島県田村市「仮設住宅」、  
「福島支援弾圧」裁判救援会、ほか

### フクシマと結ぶ 音の力いのちの言葉

■ 入場料は徴収いたしません。事前に「参加協力券(¥1,000)」をお求め下さい。(申込方法は裏面をご覧ください。)

■ 主催：「5・25」実行委員会 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町 8-18 酒井ビル I 203号室  
コラボ玉造[TAMAZO] 内 T/F 06-6763-0211





# さよなら原発、被曝はいやだ、 金権まっぴら、弾圧やめろ …汚染列島を変えるために!

今年2月27日、福島各地でのボランティア活動と「仮設住宅コンサート」を終えて帰阪した古河潤一(戸籍名・唐住日出男)さんが大阪府警に逮捕され、その後、関西・千葉・福島の19ヵ所にも及ぶ家宅捜索が行われました。約1ヶ月の取り調べに「完全黙秘」を貫いた彼に対する大阪地検の報復は、「起訴」でした。容疑は「電磁的公正証書原本不実記録・同供用」。つまり、他人名義で登録した自動車を自家用として使っていたのが「罪」だということです…これは一体、何を意味するのでしょうか?

「3・11」から一年が過ぎても、日本政府と東電の「無責任・隠蔽体質」は変わっていません。そればかりか、「脱原発」の方向に進もうとした菅直人の後に登場した「野田ドジョウ」内閣は、「原発輸出・再稼働」を目指すと公言して憚らないのです。原発災害の渦中にある地震大国日本、その政治中枢・永田町が迷走の度を深める一方で、「原発推進」路線だけは毫も揺るいでいません。もう一度、あんな地震が来たら…不安と絶望が募るばかりです。福島をはじめ「過疎地」に54基(世界第三位)の原発、「国土」面積の0.6%にすぎないの沖縄に在日米軍基地の74%が集中…これは一体、何を意味するのでしょうか?

世の中の閉塞状況と民衆の不安・焦燥・絶望をよそに、橋下徹だけが元気です。「今、日本に必要なのは独裁」「教育は2万%強制」などと臆面もなく主張しながら大阪市長に成り上がったファシストは、公務員と教師を徹底していじめ抜き、教育に政治介入し、人権・福祉・文化を足蹴にして、挙げ句の果てに「大阪都構想」で「中央政界に進出する」のだそうです。大阪を食い物にする橋下にすれば、法律も政治も「立身出世」の道具に過ぎず、庶民の生活など「知ったこっちゃない」、法や憲法など「取るに足らない」のです。市職員の思想調査は言わずもがな、「日の丸・君が代」強制だけでは飽きたらず「口元チェック」までする異常ぶりは、ヒットラーでも首をすばめることでしょう。橋下独裁党「維新の会」が唱える「改革」は「生活破壊」と「人間性抹殺」の別名で、その「政策」なるものはオノレ等の「利権確保・拡充」手段に他なりません。マスコミは、「お手盛り記事とヨイショ番組」を垂れ流すだけ…これは一体、何を意味するのでしょうか?

2004年「立川反戦ビラ事件」以降、反戦平和「サウンド・デモ」や人権擁護活動、闘う労働組合に対する刑事弾圧が、とても強まりました。昨年も、大阪市に住民票を奪われた人々の選挙権を守る活動をしていた釜ヶ崎の仲間への大弾圧(4月)がありました。また、神奈川でも教育労働者の組合活動に対して不当な介入と弾圧(10月、逮捕・勾留の末不起訴)がなされました。「家宅侵入」「免状不実記載」などという「微罪」で逮捕する、「公務執行妨害」を濫用して現場で逮捕する、あるいは「強要未遂」などと言った口実を使う。こういった刑事弾圧は、はたして「3・11」や「ハシズム」と無関係でしょうか? 「3・11」以降、震災の実相と被災者の実態、原発事故の本質、そして何よりも、国家の無能ぶりが大衆的に暴露されるのを恐れる権力が、「ハエとポチ」を駆使して取り締まりを強化しないはずはありません。また、ハシズムに我が意を得た公安警察が、何らかの意図で策動しないわけがないのです。

天皇や皇室が参与する「慰霊と追悼」、そして「がんばろう東北」「絆」「日本の底力」等々、<戦時体制強化>にも似た「団結と一体化」キャンペーンは、今後も大いに推奨されることでしょう。しかし、民衆が主体となって独自の支援・連帯を強めること、ましてや「フクシマ」が他の政治的課題と結びつくことを、権力は断じて許さないので。挙げ句の果てに、避難者や放射能汚染地帯で暮らさざるを得ない人々を切り捨てる国…これが今の「日本」です。「原子カムラ」とファシズムに支配され、放射能に汚染された未来しか望めない…私たちは、膝を屈して座したままで、本当にいいのでしょうか? 脱原発と同時に、「脱被曝」も火急の課題なのです!

『阪神・淡路大震災を経験した私たちこそ「反原発・被災地支援」に取り組むべき』『もうこれ以上、権力の好きにさせん』『自分の意見や考えが堂々と言えないなんて、嫌だ、御免だ』『何ができるか判らないけど、できるなら何かしたい』『橋下辞めてほしい、リコールしよう』『福島と繋がりたい、これからはずっと』『紡ぎ合うコトバを探したい』『死なずに生きたい』…私たちは、色んな願いと思いを寄せ合って「5・25」を計画いたしました。「音の力」と「いのちの言葉」を、皆さんと分かち合いたいです。あなたのお越しを、心よりお待ちしております。【実行委員会一同】

「5・25」実行委員会では、賛同団体、賛同人(個人)を広く募っています。当日のパンフレットに掲載いたしますので、趣旨に賛同される方は下記①の方法でご連絡下さい。

お申し込み方法  
参加協力券

① 下記のいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号と、必ず枚数をお知らせ下さい。  
[振り込み用紙] 同封でお送りします。

電話 080-3119-7074 (Soft Bank)

Fax 050-1200-9601 (BB Phone)

メール tamazo@fanto.org

「コラボ玉造」まで 葉書か封書

② 郵便振替口座に「5・25参加協力券 ○枚希望」とお書きになってご送金下さい。一枚につき、¥1,000です。入金が確認され次第、指定の住所・氏名まで郵送いたします。

【口座番号】 00940-5-312873

【加入者名】 企画・出版 黄土(ファント)

※事務処理の関係上、振り込みの締切を5月17日(木)とさせていただきます。